


施設名	三角西港								
所在地	熊本県 宇城市三角町								
管理者等	熊本県・宇城市								
施設種類・分野	港								
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>三角西港は明治政府が手がけた三大築港の一つで、オランダ人建築家であるローウェンホルスト・ムルドルが設計、日本の土木技術により施行され、1887年に竣工した。</p> <p>長い石積み埠頭の背後の埋め立てにより整備された港湾区域には、水路や排水システムが配され、土地の区画や道路幅もゆとりがあり、オランダの都市計画の知見が活かされている。三角西港は口之津港の補助港として三池炭の積出をしたが、三井が三池炭鉱の払下げを受けた後、1902年に積出港としての機能を終えた(資料1から引用)。</p>								
築造時期	明治中期		時期詳細	明治20年			宇城市HPから引用		
関連人物	ローウェンホルスト・ムルドル								
関連企業	-								
トピックス (特徴的エピソード)	三角西港は、オランダ人技師による築港技術に日本の伝統的石工の技術が果敢に挑戦し成功した港湾都市であり、合理的な都市基盤整備は現在も当時の状態をほぼ完全に残している。明治中期の産業形成期における石炭輸送の発展を示す物証であり、三池炭鉱の良質な石炭を上海(中国)へ輸出するための輸送インフラとして、近代的な石炭産業の発展を示す実例である。(宇城市HPから引用)								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産(土木学会)	○	文化財(文化庁)	重要文化財	近代化産業遺産(経産省)	○	世界遺産(ユネスコ)	○
		その他の指定・認定	敷地内に国登録有形文化財、市指定文化財の建造物あり。建造物等すべて含め国重要文化的景観に選定。						
その他 (関連資料、文献)	資料1: 明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業 世界遺産推薦書ダイジェスト版(日本国政府内閣官房)								
管理者等のHP (URL等)	宇城市HP (http://www.city.uki.kumamoto.jp/q/list/389.html)								